

# 祝誕生一周年



## 2 特集 平成22年度予算

- 6 庄原中学校を全面改築へ
- 8 地域づくり講演会2010「協働」ってなに？
- 10 まちなか交流施設オープン
- 12 「さとやまのお母さん」を募集
- 13 市合併5周年記念NHK「のど自慢」
- 15 ふるさと応援寄付金の状況
- 16 子ども手当の支給はじまる
- 18 消費者月間「だまされないために」
- 19 健康広場「がん健診に行こう!!」
- 20 市政トピックス
- 22 カメラレポート
- 26 お知らせ

マツダスタジアムでのカープ地元開幕戦に、「満1歳・庄原赤ちゃん大集合ツアー」で参加した、赤ちゃんとその家族が試合を観戦。電光掲示板に赤ちゃんの写真が映し出されると、家族の歓声とともに球場全体が和やかな空気に包まれました。(関連記事22ページ)



(平成15年5月1日撮影)

## Vol.12 「県民の森のブナ」

# しょうぼうばら 百景

わたしの趣味は、山登りです。山から眺める景色が好きで、いつもカメラを持って出かけています。この写真は、数年前に偶然撮れた県民の森でのひとコマです。まだ雪が残る5月1日、夏場は草が生い茂って通れない場所だったので、この日は残雪のおかげで足を踏み入れることができました。すると、朝日でキラキラ輝くブナに遭遇し、思わずシャッターを切りました。これも山登りの醍醐味のひとつです。  
 (増永久登・板橋町)

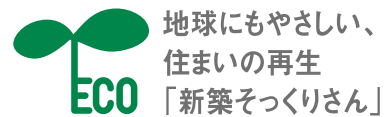
### 応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

### 応募先

〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号  
 庄原市企画課広報統計係  
 ☎0824-73-1159  
 メール kikaku-toukei@city.shobarahiroshima.jp

# 住宅エコポイントが はじまりました。



国土交通大臣許可(特-17)第4638号  
**住友不動産**  
 新築そっくりさん 広島東営業所  
 〒739-0011 広島市西条本町7-29(林ビル1階)  
 TEL082-431-3525 FAX082-423-1751  
<http://www.sokkuri3.com/>

詳しくはフリーダイヤルまで  
 お気軽にお電話下さい。また、ホームページでもご覧頂けます。

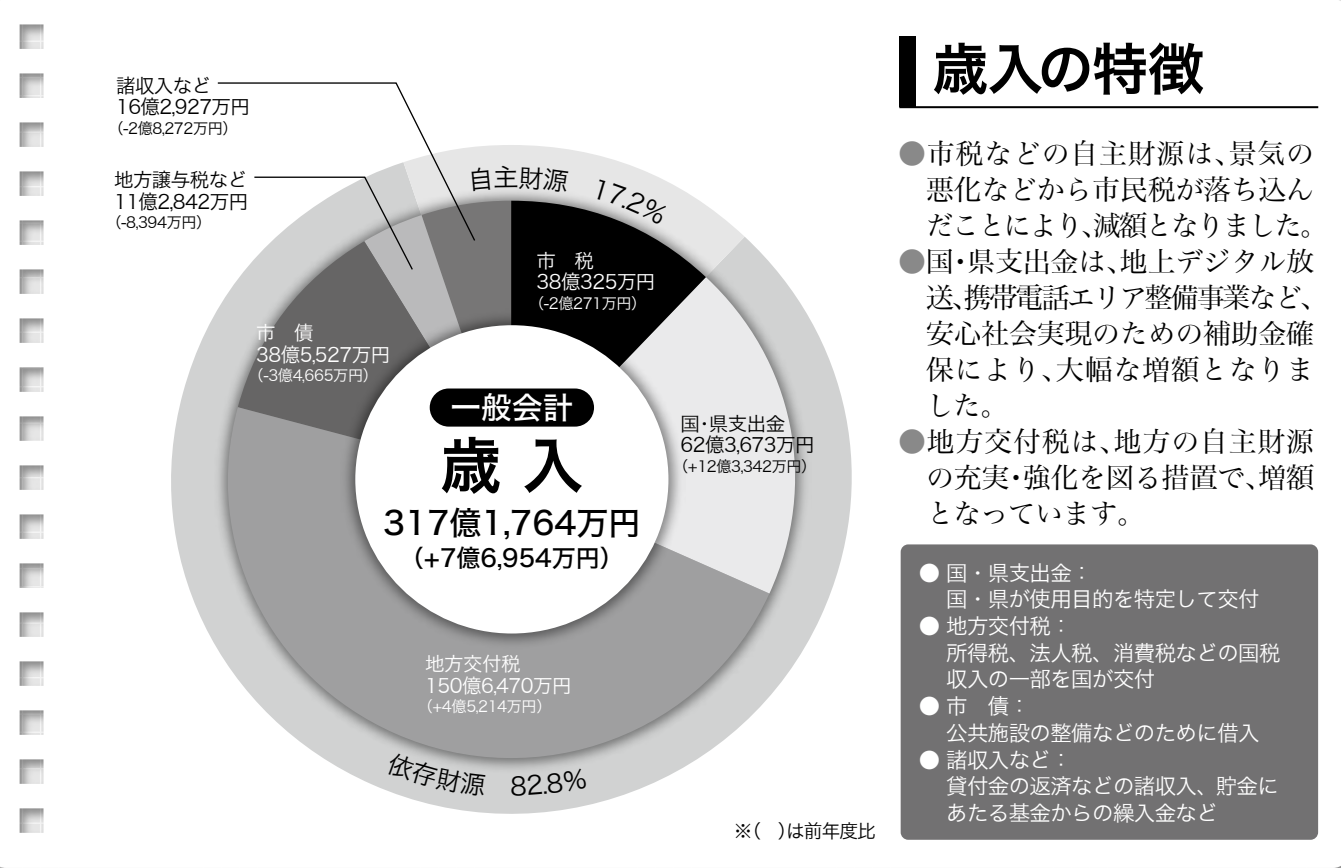
**0120-356-218**  
 FreeDial

資料請求券  
 入会時にのりこめ  
 返って下さい。



## 一般会計予算 合併後最大規模

平成22年度一般会計の総予算は317億1,764万円となり、合併に伴う地域振興基金35億円創設の特殊事業があった平成17年度を除くと、合併後では最大規模となりました。



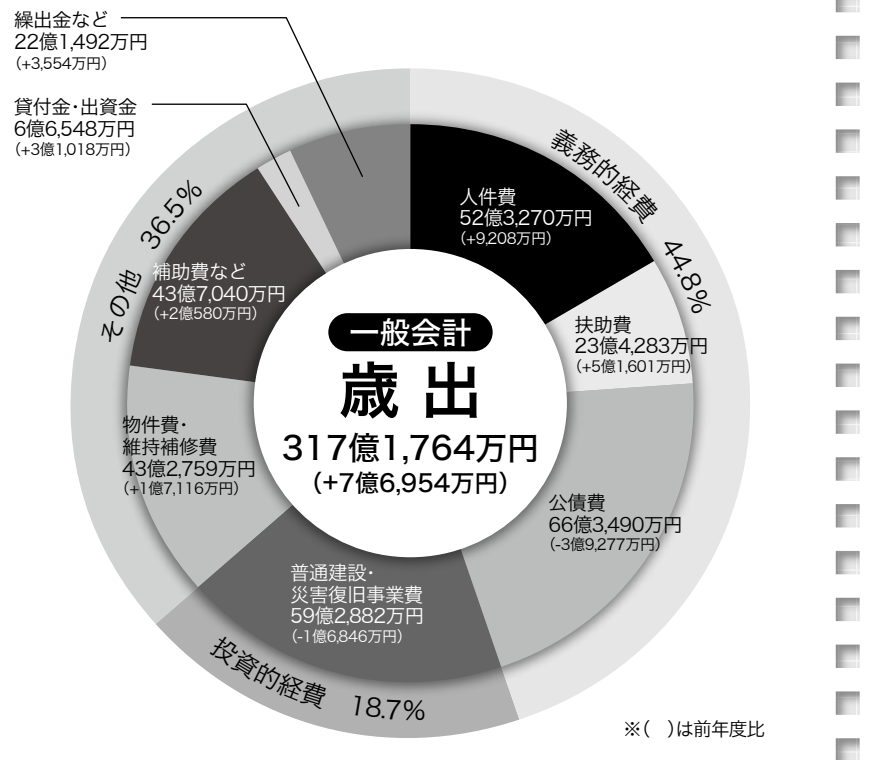
- 市税などの自主財源は、景気の悪化などから市民税が落ち込んだことにより、減額となりました。
- 国・県支出金は、地上デジタル放送、携帯電話エリア整備事業など、安心社会実現のための補助金確保により、大幅な増額となりました。
- 地方交付税は、地方の自主財源の充実・強化を図る措置で、増額となっています。

- 国・県支出金：国・県が使用目的を特定して交付
- 地方交付税：所得税、法人税、消費税などの国税収入の一部を国が交付
- 市債：公共施設の整備などのために借入
- 諸収入など：貸付金の返済などの諸収入、貯金にあたる基金からの繰入金など

## 歳出の特徴

- 扶助費は、子ども手当の新設などにより、大きく伸びています。
- 公債費は平成17年度をピークに計画どおり減少してきています。
- 補助費は産業振興や医療、福祉施策の充実により、増額となりました。

- 扶助費：生活保護、児童手当や高齢者・乳幼児の医療費
- 普通建設事業費：道路、学校、公園などの公共施設の建設費
- 物件費：委託料、消耗品費、通信運搬費
- 補助費：各種団体への補助金、負担金



詳しくは、市のホームページに予算資料を掲載しておりますので、ご覧ください。

【特集】  
SPECIAL

平成22年度  
予算

# 「共生社会」の実現へ 着実な歩みを

# 予算

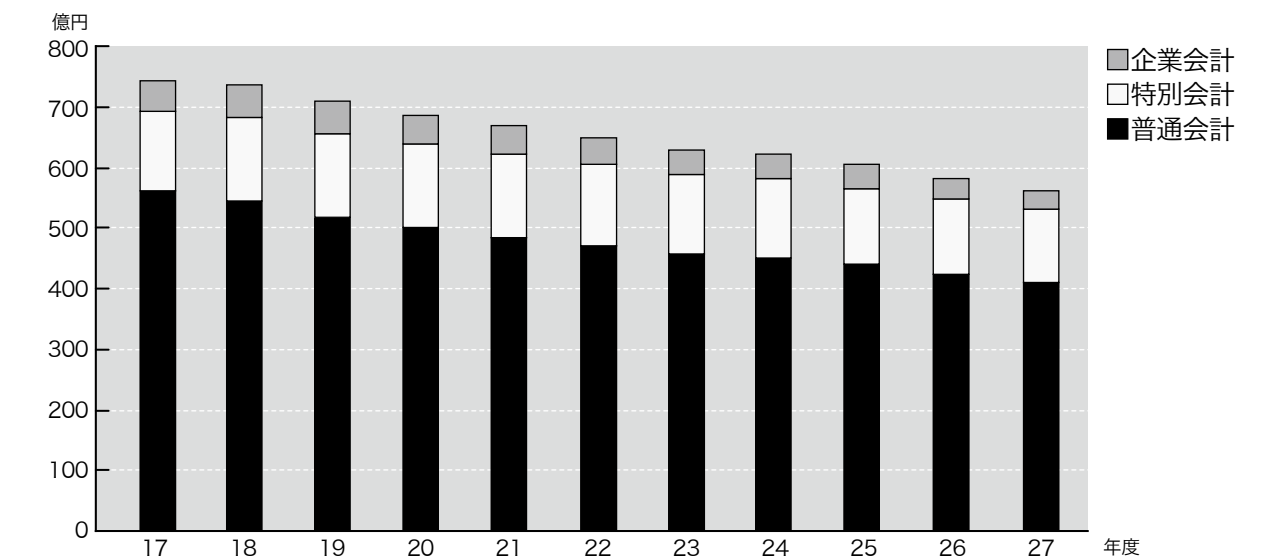
「財政健全化」の取り組みを継続  
「重点戦略プロジェクト」・「長期総合計画・後期実施計画」に重点配分

平成22年度の庄原市の当初予算が成立しました。長引く景気低迷によって市が確保できる財源も限られてくる状況ですが、市債の発行を抑えるなど財政健全化の取り組みを維持しつつ、重点事業へ効果的な予算配分を行いました。



## 「財政健全化」を継続して実行

市債残高の推移



平成18年度に策定した公債費負担適正化計画に基づいて、市債残高を削減するよう計画的な市債(借金)発行に努めています。グラフは年度末での残高を表しています。平成21年度以降は見込みです。

**保健・福祉・医療**

**出産祝い金**

6,775万円

子どもの誕生を祝福するとともに、次代を担う子どもたちの健やかな成長と保護者の経済的負担の軽減を図る。第1子の誕生は20万円/1人、第2子の誕生は20万円/1人、第3子以降の誕生は35万円/1人

**子ども手当の支給**

6億1,913万円

新政権のマニフェストに基づき創設された「子ども手当」。中学生まで1人あたり月額13,000円を支給。

**庄原保育所移転改築事業**

1億6,887万円

老朽化が激しく耐震強度が不十分な庄原保育所の移転改築。平成22年度は用地取得と測量設計を実施。平成22年度～平成24年度 予定総事業費 6億8,340万円



**私立小奴可保育所移転改築補助**

1億9,782万円

私立小奴可保育所移転改築事業(平成21年度～平成22年度)の経費を一部補助。平成22年度は本体工事、工事監理などへの補助。

**事業所内託児所運営補助**

500万円

事業所内に託児所を設置する事業者に運営費用の一部を助成し、安心して働くことができる環境づくりを推進。

**地域密着型介護サービス施設整備助成**

1億9,515万円

県補助金を活用し、地域密着型介護サービス施設を整備する法人に、整備事業費と開設に伴う体制整備に必要な経費の一部を助成。

**老人福祉施設整備支援**

7,900万円

介護保険と障害者福祉の複合施設を整備する法人に対して、ふるさと財団の融資を活用し、対象事業借入総額の1/4以内で無利子の貸付を行う。

**緊急医療体制の確保**

5,595万円

中核病院である庄原赤十字病院の機能の維持と強化を図る。  
○婦人科外来の維持・継続  
○麻酔科医師、看護師の確保支援

**医療従事者育成奨学金貸付事業**

1,612万円

本市の医療を支える人材を育成するため、医師・看護師などの医療職に就き、市内の医療機関などに勤務しようとする方に、奨学金を貸付ける。

**重点戦略プロジェクト**

**農業自立振興プロジェクト**

2億4,678万円

- 新規就農者への支援
- 農業後継者育成
- 営農指導員設置
- かんたん就農塾
- 食農教育モデル事業
- 地産地消推進事業
- 農業自立支援プログラム実践
- がんばる農業支援事業補助金
- 有機農業推進事業
- 繁殖用和牛飼育推進
- 土づくりによる地域ブランド化事業など、「農業による定住社会の復活」を目指し、農家所得の向上と地域農業の底上げを図る。

**木質バイオマス活用プロジェクト**

3億1,501万円

- ペレットボイラー導入事業
- ペレットストーブ購入補助
- 竹の有効活用事業
- ペレット製造施設管理運営
- 木質バイオマス利活用プラント建設補助
- など、新産業創出や林業振興、地域資源循環型社会の構築と里山再生を目指す。



**まっとうよ！庄原定住プロジェクト**

4,465万円

- 新婚世帯家賃支援補助金
- ふるさと応援団「エール庄原」の充実
- 起業支援補助金など定住希望者の経済基盤づくり
- 定住のための空家活用改修事業補助金
- 高速バス活用による定住対策補助金
- 男女の出会いサポート実行委員会負担金
- 定住促進事業実績交付金など自治振興区と連携したUターンへの推進ほか

**感動！観光振興プロジェクト**

5,801万円

- 2010年庄原さとやま博
- 庄原市観光振興公社設立準備
- しょうばらさとやまバスツアー100の充実
- 備北観光ネットワーク協議会関係経費
- オープンガーデンコンテスト補助金
- 庄原まちなか会議負担金 ほか

**重点事業**

新しい事業や予算を増やしたり、内容を充実させた重点事業をお知らせします。

Main business

**自治・協働**

**自治振興区の活動促進補助と運営支援**

2億3,783万円

88自治振興区の運営・活動を支援するため交付金などを交付。新たに八幡、帝釈、口和、総領が自治振興センター化。

**地域づくりリーダー育成**

263万円

市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、講座や研修を行ない地域リーダーを育成。

**クラスターのまち実現プロジェクト**

1,133万円

7地域の個性や特性を活かしたクラスターのまちづくり実現に向けて、事業展開を図る。

**まちづくり基本条例策定**

215万円

市の基本理念である「げんきとやすらぎのまちづくり」の具現化に向け、市民と行政との役割・責務について基本的事項を定める基本条例を策定し、住民参画によるまちづくりを推進。

**産業・交流**

**新規就農者支援(重点戦略プロジェクト)**

2,740万円

新規就農者を支援するとともに、企業の農業参入を促進。

**農業後継者育成(重点戦略プロジェクト)**

960万円

農家などで営農研修を行う方に奨励金を交付し、農業後継者の育成・確保を図る。

**耕畜連携支援モデル事業補助**

2億7,595万円

国の交付金を活用し、鶏糞を発酵処理するための施設整備(CO2削減、臭気抑制)に要する経費の1/2を助成することにより、発酵鶏糞の地域内利用の促進と循環型農業の推進を図る。

**観光交流ターミナルの整備**

5,387万円

中国横断自動車道尾道松江線の開通に向けて、高野観光交流ターミナル(道の駅)を整備。平成22年度は用地造成工事、建物実施設計など。

**中小企業振興対策**

4億1,518万円

中小企業振興事業補助金、中小企業融資預託金 ほか。

**環境・基盤・定住**

**住宅用太陽光発電システム等設置事業補助金**

1,201万円

市内の住宅に太陽光発電設備及び省エネ機器(LED照明器具等)を整備する方に、経費の一部を助成。

**テレビ難視聴解消補助**

7億630万円

地上デジタルテレビ放送が視聴できるように、共聴施設の改修または新設を行う共聴組合に整備費の一部を助成。

**携帯電話エリア整備**

6億9,798万円

携帯電話不感地域の基地局施設を4地区10ヵ所整備し、通話可能世帯カバー率99.8%を目指す。

**市民タクシー事業**

575万円

自治振興区が運営する市民タクシー事業へ支援。継続13地区と新規10地区で展開。



**教育・文化**

**学校環境の整備・充実**

458万円

インフルエンザ対策の一環として小中学校の全教室へ加湿器を配備。

**庄原中学校改築事業**

4億7,598万円

耐震強度が不足し老朽化の著しい庄原中学校の校舎などを全面改築(建替)。平成20年度～平成25年度 予定総事業費 33億6,000万円







現在の庄原中学校

# 庄原中学校を 全面改築へ

To reconstruction full-scale in Shobara Junior High School



## 現状

**庄** 原中学校は、昭和43年に旧庄原市内7校が統合し、昭和44年に校舎を新築し、昭和45年から現在の校舎を使用しています。

当時は、生徒数1000人余り、学級数30余りの大規模校として充実した設備がありました。しかし、約40年を経過した現在の施設は、老朽化の問題に加え、施設内にも死角となる部分が多いなど、生徒指導面や安全面で、

課題があります。さらに、少子・高齢化、情報化、国際化、価値観の多様化への対応など、時代の要請を踏まえた施設が求められています。

また、構造的な面も、耐震診断や耐力調査で、いずれも国の求める基準を満たしていないため、早急な対応が必要になりました。

市は昨年度、「庄原中学校改築事業基本方針」を策定し、今後、関係者から意見を聞きながら、平成25年度の事業完了を目指して、全面改築を行います。

## 取り組み状況

**はじめに、地域住民・PTA・教職員**など関係者の意見や要望を改築事業に反映するため「庄原市立庄原中学校改築事業の実施に伴う関係者の意見を聴く会」を設置し、3月18日に第1回目の会議を開催しました。

この会で、「今後の学校教育機能をより充実させるためには、どのような施設が必要か」という視点で今後とも協議を重ね、目指すべき学校施設の姿を明らかにしていく予定です。

また、3月30日には、より優れた設計者による創造力や技術力、豊富な経験などを期待して、指名型設計プロポーザル方式(※1)による設計者選定公開ヒアリングを開催しました。多くの市民の方が見学する中、5社が企画案を説明した後、選定委員会の厳正な審



プロポーザル方式による設計者選定公開ヒアリングの様子

※1  
「プロポーザル方式」とは、技術提案書の提出を求め、それを審査し、最も優れた提案を行った者と契約をする方式です。

発注者と設計者が、具体的な設計を共同して進められるため、発注者が要求する質の高い建築設計が可能になります。

査を経て、(株)村田相互設計を設計者に決定しました。

- 主な工事スケジュール予定**
- 平成22年度  
基本設計・地質調査・実施設計・校舎棟建築(一部)
  - 平成23年度  
校舎棟建築・関連外構工事
  - 平成24年度  
屋内運動場・武道場・付属建物建築・関連外構工事・既存校舎棟解体撤去・グランド整備
  - 平成25年度  
既存屋内運動場・武道場解体撤去・敷地整備工事

## 庄原中学校施設整備基本方針

### 一 基本理念(要旨)

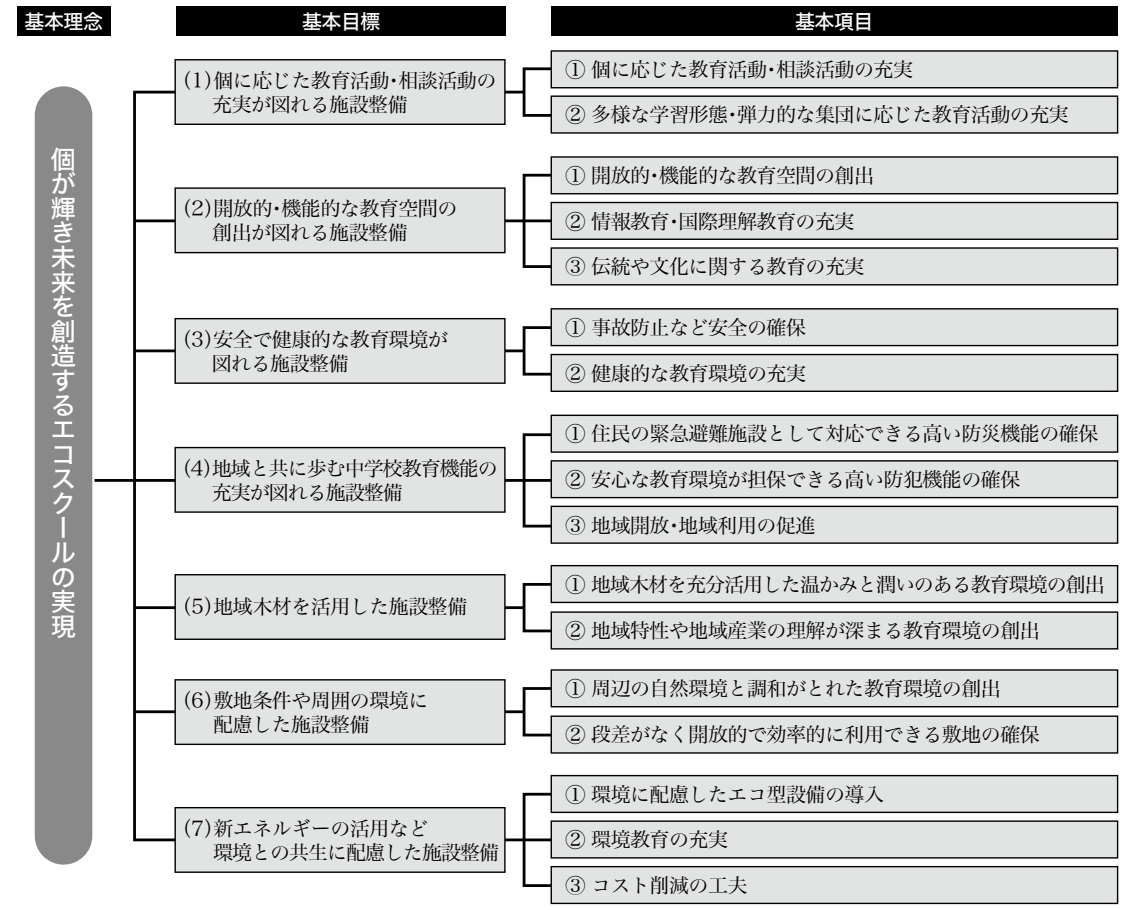
**学** 校施設は、生徒・教職員が1日の昼間の大半を過ごすところであり、まず安心安全で快適に過ごせるものでなくてはなりません。さらに、当該学校の学校教育をいかに充実していくかの観点で整備しなくてはなりません。

現在の施設は、耐震性の不足や、施設の老朽化に加え、棟数が多く死角となる個所が敷地に多数あり、教育指導が充分に行き渡らない施設環境であるなどの課題があります。

改築にあたっては、十分な耐震性を有し、防犯機能も備えた安心安全な施設にするとともに、開放的で機能的な教育空間を創出します。また、地域木材や新エネルギーの活用などに配慮し、生活の場として快適に過ごせる施設整備を図ります。

市教育委員会では、庄原中学校施設整備における基本理念を「個が輝き未来を創造するエコスクールの実現」とし、その実現に向け、7つの基本目標を設定しました。また、基本目標に沿って基本項目を設定し、具体的な施設整備計画を立案します。

## 庄原中学校施設整備基本構想図



教室で授業を受ける中学生



次代を担い将来の社会を創っていく中学生



# 「協働」ってなに？

## ～協働が求められている理由～

今、地域づくりには「協働」が求められています。この協働をテーマにした地域づくり講演会を3月20日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。その内容の一部を紹介します。協働するためには何が必要なのかを一緒に考えてみましょう。

**演題** 自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために～協働の基礎を再確認する～

**講師** IHOE(人と組織と地球のための国際研究所) 代表

かわきた ひと 川北 秀人 さん

【プロフィール】1964年大阪生まれ。京都大学を卒業後、㈱リクルートに入社。その後、国際青年交流NGOの代表、国会議員の政策担当秘書を歴任。1994年、IHOE(人と組織と地球のための国際研究所)を設立。



実践することです。

レストランに例えると、今までは行政が建物を建て、メニューも考え、市民はお客としてただ食べるだけ。皿の片付けも行政がしていました。そうではなく、官と民とで一緒に経営するのが。営業時間は何時からにするのか？メニューは？値段はどうするのか？を一緒に話し合っ、うまくいってもいなくても責任を分担する。これが協働です。

### 一人でのびのび 高齢者を支える

**庄** 原市の人口は、1990年に5万人でしたが、現在はおよそ4万人。これから10年ごとにおよそ5千人ずつ減っていくと予測されます。子どもの数は半減しており、今後さらに4割減少すると言われています。わずか20年で子どもの数が半分になるというペースは、これまで見たことがありません。高齢者率は現在で38%、2020年には44%になると予想されており、1人でひとりを支えることになりません。

庄原市のまちづくりを考えるときに、国の政策を待つのではなく、自ら考え行動しなければいけない段階に入っています。国の20、30年先に行く庄原

市は、よそが何をしているのかを気にしている場合ではありません。まだどこもしていないことにチャレンジしていかなければならないと思います。

### 自治を取り戻そう

**そ** もそも、地域づくりは何のため、誰のためにやるのでしょうか。

ある地域では、「まちづくりは自分たちのためではなく、子どもたちのためにしよう。」と、J.A・商工会・漁協・森林組合・行政・PTA・教員などが連携し、自分たちの町の豊かさを子どもたち自身に感じてもらうため、独自の教育プロジェクトに取り組みされています。授業を受けた子どもたちは、毎年「こうすれば町はもっと良くなる」という提案を町長や教育長に提出します。そして、子どもたちが高校を卒業してこの町に戻ってくるときに、1つでも提案を実現させる地域を目指して活動されています。

子どもたちの世代が誇りを持って暮らし、育った町でちゃんと働いていけるような基盤を大人たちが責任を持ってつくっていく。これは行政だけにやらせることではありません。

庄原市では、公民館の自治振興センターへの移行が進められています。地域の要求にあった運営ができるよ

### 「協働」ってなに？

**キ** ヨウドウの意味は「強制労働」の略だと思っていたという人

うに、指定管理者制度が導入されています。多様化する住民の要求が検討されているかがとても重要です。みなさんが指定管理者になったときには、地域の要求が何なのかを再確認してください。「地域の代表だから」ではなく、「地域の要求を理解し、応えることができるから」指定管理者になるのです。

### 新たな魅力づくり

**地** 域の新しい魅力づくりをどうするか、考えてみてください。

大分県の別府では、市民活動団体が少人数参加のまち歩きツアーなど、さまざまなツアーを企画し、人気を呼んでいます。観光客数は、昭和の絶頂期の3分の1に減りましたが、これらの取り組みによって少しずつ増えてきました。10万、100万人単位の観光客数ではなく、自分のところにまた必ず来てくれるリピーターをどれだけ積み重ねられるかで勝負しています。ひとつひとつの企画は大したことではありませんが、それを魅力として集めていくことでいえば庄原市でもできる。例えば、企画するいくつかの表ツアーを制覇すると、観光農園で絶対人

だけが取れる裏ツアーに参加できるといったようなものです。

自分たちの地域の力をどう高め、維持するかは、行政を待っていてはいけません。自分たちの力で何をしなければいけないのかを決めなければなりません。

### 地域の力を 出し惜しみしない

**限** 界集落を訪れそこで感じるのは、その地域が元気かどうかは、住民の数や若者の比率ではないということ。自分たちが住み続ける地域のために、出し押しみせず全力を尽くしているかどうかです。

みなさんが、みなさんの子どもや孫たちが、この町に住み続けるための「地域に対する投資」と考えてください。これまで行政に任せていたことを地域にどのくらい取り戻し、地域と行政が力を合わせないとできないことを、どうやって始めるかを一緒に考えていく。それが「協働のまちづくり」です。みなさんの集落、地域でも、これかどうということをしていけば地域が豊かになるのかをしっかりと話し合い、行動し、それに行政をどう巻き込んでいくのかを考えてほしいと思います。

### 質問にお答えします。(※抜粋)

**Q** 今おかれている状況から抜け出しにくいと感じています。

**A** 農業で、100%収穫できると思っている種をまいていますか？農業はまず土づくりです。土づくりをしっかりしていなければ、花は咲きません。地域づくりは土づくりだと思ってください。今年どんな花が咲くかではなく、来年も再来年もずっと花を咲かせ続けようとする土を耕し続けなければいけません。方向や植える位置は違っても、一緒に耕し続けようと思

**Q** 協働を進めるために市役所に求められるものは？

**A** 他の自治体では、協働する事業の予算を他の事業より優先的につけたり、市民から協働したい事業の提案を受け付け予算化しているところもあります。自治体が事業を選択するのではなく、市民が協働する事業を選択するという前提に立ったルールをつくってはどうか。

### ご意見 (※抜粋)

●もつと若い人(35歳以下)が動けるように、アイデアを発揮できる場をつくっていきましよう。  
●今回の講演会は大変刺激的で素晴らしいものでした。これをここで終わらせずに、生かせるように協働したいものです。

●過去の事例はもう使えません。前例にとられない条例を作成し「庄原タイプの協働」をつくっていきましよう。  
●今の補助制度の考え方を市民と一緒に見つめ直してみよう。  
●多様なニーズ、形態がある中で、一律的な自治振興センター化は問題があるのでは。

この講演を録画したDVDの貸し出しを行っています。自治振興課 ☎0824731209 または、各支所地域振興室へお問い合わせください。



### 庄原まちなか交流施設

# 「紅梅通り 三軒茶屋」

## 「さんちやKAI」4月9日(金)にオープン



特産品販売コーナー



材料にこだわった日替わりランチ

日替わりランチなどが楽しめる軽食喫茶は、地元庄原産の野菜にこだわったメニューを提供しています。休憩所やトイレ利用としても気軽に立ち寄りください。

営業時間は9時から16時(ランチは11時から14時)まで。

毎週土・日曜日が店休日(予約営業有り)

「さんちやKAI」

☎08247220037

2階利用申し込み窓口

商工観光課 商工振興係

☎0824731178

市民交流サロンラッキー

☎0824720075

「気軽に立ちよって」

まちなかの魅力と賑わい創出を目的に4月9日、「紅梅通り三軒茶屋」がオープンしました。

軽食喫茶の営業と特産品を販売する1階の「さんちやKAI」は、障がい者多機能型事業所みとう温泉で働く方の仕事場と職業訓練の場として、社会福祉法人総領福祉会が営業しています。

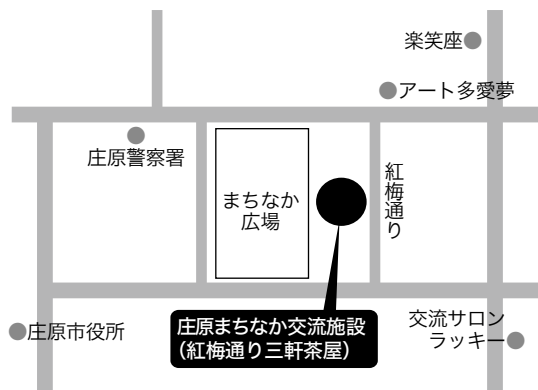
2階は、展示室が3部屋あり、展示会場や会議室として無料で利用することが出来ます。(ただし、営利目的の場合は1時間あたり1000円)

「まちなか交流の拠点に」

市は、市街地のまち歩きや買い物を楽しむ人が少ないことから、まちなかで長く滞在してもらうきっかけづくりにと、紅梅通り周辺の空き店舗や路地空間を活用して、「紅梅通り三軒茶屋」と「まちなか広場」の一体的な整備を進めています。

今後は、三軒茶屋裏の空き地を公園として整備する予定にしており、観光客がまちなかを散策しながら市街地を楽しんでいただけることを期待しています。

庄原まちなか交流施設「紅梅通り 三軒茶屋」位置図



### 東城まちなか交流施設

# 「えびす」



## 4月10日(土)にオープン



「えびす」は、東城まちなか散策の交流・憩いの拠点であるとともに、市民活動の拠点としての機能も持っています。「集う・情報」「学ぶ」「憩う・交流」「食べる」「売る」の5つの機能を基本に、東城市街地の賑わい創出と地域活性化を目指します。

【集う・情報】【主屋1階】

インフォメーションコーナーは、まちなか情報やイベント情報を発信します。

ギャラリイは、作品展や市民の創作活動などを紹介します。

【学ぶ】【主屋2階】

多目的研修室は、地域の文化教室や講演会、会議室として利用できます。

※営利目的で使用する場合は、1時間あたり1000円

【憩う・交流】【中庭】

癒しと集いの空間。常設のステージでは集客性のあるイベントを随時行います。

【食べる】【蔵】

地元の食材を使ったメニューが味わえます。

【売る】【主屋1階】

ショップは、東城ならではの特産品や手作り品などのコーナーを設けています。

開館時間 9時～18時

多目的研修室は22時までご利用いただけます。

お問い合わせ

東城支所地域振興室

☎0847725003

東城まちなか交流施設(えびす)

☎0847730788

Interview

## 『えびす』の持つ意義

東城まちなか交流施設『えびす』の運営を任されることが決まり、これまで議論を重ねてきた思い入れから、これからやるぞという気持ちとやらなければいけないという使命感で身が引き締まる思いです。

「えびすで何をやるの?」「どうなるの?」といった声が圧倒的に多い中、「えびす」とは何なのかをこれ

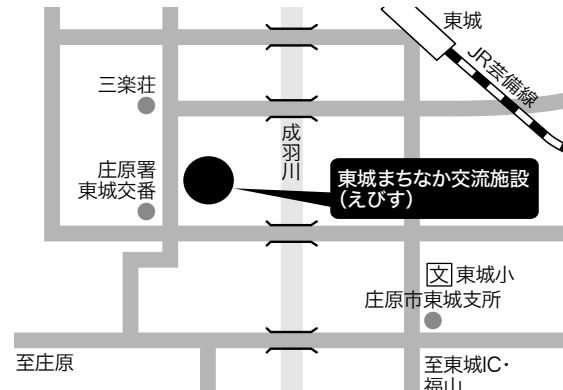


株式会社えびす (指定管理者)  
代表取締役 後藤 茂行 さん

から市民のみならずまに示していくことが必要だと考えています。

『えびす』は市民、地域にとつての財産。起爆剤としての役割はもちろんです。若者たちを中心として、地域ぐるみで知恵を出し合い切磋琢磨できる場所にして行きたい。どうぞ気軽にお立ち寄りください。

東城まちなか交流施設「えびす」位置図







庄原市合併5周年記念

# NHK「のど自慢」 の実施について

NHK広島放送局、庄原市などでは「NHKのど自慢」を実施します。  
出場および観覧をご希望の方は、下記の要領でお申し込みください。



ゲスト 北山たけし・秋元順子

## 1 名称

庄原市合併5周年記念  
「NHKのど自慢」

## 2 主催

NHK広島放送局、庄原市、庄原市教育委員会、NPO法人庄原市芸術文化センター

## 3 とき

【本番】平成22年7月4日(日)  
開場/11時 開演/11時45分  
終演予定/13時30分  
【予選会】平成22年7月3日(土)  
開場/12時 予選会開始/13時  
終了予定/17時30分

## 4 ところ

庄原市民会館(926席)  
(庄原市西本町2-17-15) ☎0824-72-4242

## 5 出演

●ゲスト/北山たけし・秋元順子  
●出場/予選を通過した20組のみ  
●司会/松本和也アナウンサー

## 6 出場申込

郵便往復はがき【1枚1名(組)様】の  
往信用裏面に①郵便番号②住所③名前(ふりがな)④年齢⑤職業(具体的に)  
⑥電話番号⑦歌う曲目と歌手名⑧選曲理由を記入してお申し込みください。  
※返信用表面には郵便番号、住所、名前を記入してください。  
●あて先 〒730-8672 NHK広島放送局「のど自慢 出場」係  
●締め切り 平成22年5月31日(月) 必着  
※応募は1人組1通に限ります。  
※グループで出場される場合、全員の名前「年齢」「職業」を「記入ください」。  
※応募資格は15歳以上(中学生をのぞく)、原則アマチュアに限ります。  
※応募多数の場合は、定員250組を選出のうえ、前日の予選会に出場していただきます。

## 7 観覧申込

入場は無料ですが、入場整理券(1枚で2名様まで入場可)が必要です。郵便往復はがきの往信用裏面と返信用表面に、①郵便番号②住所③名前④電話番号(④は往信用裏面のみ)を記入してお申し込みください。応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。  
●あて先 〒727-0013 庄原市西本町2-17-15 庄原市民会館「の

## 8 放送予定

【NHKのど自慢】平成22年7月4日(日)12時15分~13時(総合テレビ・衛星第2テレビ・ラジオ第1/全国生放送)  
【予選会】未定  
※予選会の模様は収録し、後日広島県向けに放送する予定です。

## 9 お問い合わせ

庄原市民会館 ☎0824-72-4242(平日/9時~17時)  
NHK広島放送局 ☎082-504-5218(平日/9時30分~18時)  
<http://www.nhk.or.jp/hiroshima/>

※ご応募の際にいただいた情報は、抽選・選出結果のご連絡に使用させていただきます。  
なお、NHKでは受信料のお願いに使用させていただきます。



略歴  
東京農業大学名誉教授をはじめ、日本東京スローフード協会最高顧問、発酵の街づくり全国ネットワーク会議代表ほか、約30もの肩書を持ち、それと並行して講義、講演を行い執筆活動も積極的に行っている

【食の冒険家】  
小泉武夫さん

## 講演会開催

普段わたしたちが慣れ親しんでいるさとやまの「食」は、「発酵」と切っても切れない関係にあり、味噌・醤油に始まり漬物・地酒など、数多くの発酵食品を食しています。

今回は、庄原さとやま博での体験メニュー開発支援の一環として、庄原市の「食」をテーマにした講演会を開催します。  
講師に、農学博士で醸造学・発酵学の第一人者である小泉武夫さんを迎え、全国各地で食からの町おこしに携わってこられた豊富な経験・事例を交えて講演していただきます。  
「食」の楽しみ方を市民自らの発想でプロデュースし、地域の活性化に結び付ける仕組みづくりを学びましょう。

とき 6月5日(土)13時30分~16時  
ところ 庄原市ふれあいセンター(コパリホール)  
内容 テーマ「農作物の付加価値高揚化と地域の活性化」  
講師 農学博士 小泉武夫さん  
問い合わせ 庄原市観光協会連合会  
観光公社設立準備室(観光キャンペーン実行委員会事務局)庄原市中本町二丁目5-6  
☎0824-72-3385

# 「さい」発見 庄原 さとやま博 10月3日開幕



## お母さん募集!!

庄原市観光キャンペーン実行委員会では、庄原さとやま博おせわびと「さとやまのお母さん」を募集しています。おせわびと「さとやまのお母さん」には、今年6月1日~来年11月30日まで庄原さとやま博に関係する行事やイベントなどに参加し、庄原市民を代表して、庄原市の魅力を宣伝、紹介するお手伝いをしていただきます。庄原市が大好き、庄原市を積極的にPRしたい人、ぜひご応募ください!!

■任期 平成22年6月1日~平成23年11月30日まで  
■募集締切 平成22年9月30日(木)まで(随時募集)  
■仕事内容 庄原さとやま博の諸行事での観光PR、雑誌・テレビ・ラジオなどでのPR。庄原市へ観光に来られたお客様のご案内など。  
■応募資格  
・庄原市内に在住の方。(年齢制限なし)  
・立候補もしくは推薦による。  
・「さとやまのおふくろ」というイメージの方。  
・庄原市を訪れたお客様に愛する郷土の魅力を伝えたいと思う熱意ある方。

・得意分野や特技を発揮して案内できる方。  
・勤務に支障がなく、任期中、さとやま博の諸行事、イベントなどで庄原の案内人としてPR活動にご協力いただける方。  
(例)庄原の食材を使った漬物作りが得意な方。  
※申込書に必要事項を記入し、持参・郵送にてお申し込みください。  
■申し込み先  
庄原市観光協会連合会 観光公社設立準備室(観光キャンペーン実行委員会事務局)庄原市中本町二丁目5-6  
☎0824-72-3385  
商工観光課  
☎0824-73-1178



庄原市の新しい重要文化財

「日本刀製作技術」

久保 善博さん

**西** 城町大佐の久保善博さんが、平成22年3月10日付けで庄原市重要文化財(無形文化財) 日本刀製作技術者として指定されました。久保さんは大学卒業後、平成元年に無鑑査刀匠吉原義人氏に入門し、刀匠への第一歩を踏み出されました。

その後、平成6年に島根県横田町(現奥出雲町)へ移住し作刀活動を開始され、同年、初出品作が新作刀展覧会で優秀賞と新人賞を受賞。それから日本美術刀剣保存会新作刀展覧会太刀・刀の部で14年連続入賞し、その内特別賞を5回受賞されました。近年においても、第4回備前長船お守り刀展刀身の部で1席と2席を独占するなど、輝かしい功績を収められています。

平成13年には西城町大佐に善博日本刀鍛錬場を開き、日本刀の製作に取り組みられるとともに、古来の刀鍛冶などの幅広い研究をされています。



展覧会受賞作品



文化財の指定を受けた久保善博刀匠

国指定重要無形民俗文化財

「塩原の大山供養田植」

4年に一度の現地公開

**大** 山供養田植は、不慮の死にあって牛馬の霊を供養し、現在飼育している牛馬の安全と五穀豊穡・家内安全を祈願する祭りです。

東城町の塩原・内堀・粟田地区にまたがる大飯が辻(標高1040m)にある「大山神社」は、古くから近隣の大山信仰の中心となり大規模な祭が行われてきました。

田植踊り・供養行事・しろかき・太鼓田植・お札納めの5行事から構成され、小奴可地区芸能保存会が主体となつて現在に引き継いできました。4年に一度の貴重な機会にぜひご覧ください。

とき 5月30日(日)11時開会  
ところ 東城町塩原(石神社前)  
問い合わせ

小奴可地区芸能保存会(事務局)  
☎08477-50806  
庄原市教育委員会生涯学習課  
☎0824-731189  
東城教育室  
☎08477-25221



5行事のうちの太鼓田植を行っている様子

ふるさと応援寄附金

2281万円

「生まれ育ったふるさと」・「応援したい庄原」へのふるさと納税制度による寄附金の状況は、次のとおりです。心より感謝申し上げますとともに、市民の皆さんに報告します。

平成20年7月～平成22年3月までの寄附状況

指定事業の区分	申込件数	寄附金額(円)
① 自治及び協働に関する事業	4	520,800
② 産業及び交流に関する事業	8	1,073,300
③ 環境、基盤及び定住に関する事業	6	70,800
④ 保健、福祉及び医療に関する事業	39	1,378,800
⑤ 教育及び文化に関する事業	26	4,628,324
⑥ 重点戦略プロジェクトに関する事業	7	130,800
⑦ 財政健全化への取り組みに関する事業	4	555,800
⑧ 指定事業なし	61	14,457,000
合計	155	22,815,624

※ふるさと納税制度がスタートした平成20年7月から平成21年度末までの累計です。

5千円以上の寄附をいただいた方には、広報紙を1年間お届けします。3万円以上の寄附をいただいた方には、広報紙と併せて、「市史・町史誌」または、「庄原産木材で制作した木の器」の中からご希望のいずれかを贈呈します。

※ふるさと応援寄附金の詳しい内容については、市ホームページ(<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/>)をご覧ください。財政課理財係(☎0824-731202)までご連絡をお願いします。



大阪府松原市在住の川上屋季さん(72)が4月8日に市役所を訪れ、ふるさと応援寄附金として100万円を寄附されました。小中学生のころに庄原市内に疎開していた川上さんは、当時の同級生から受けた恩を忘れることができず、その時の感謝の気持ちを庄原市への寄附という形で示されました。川上さんから、「思い出の地のために市で有効に使ってほしい。」と寄附金を手渡された滝口市長は、「貴重な浄財を有効活用したい。」と感謝状を送り、市の発展のために役立てていくことを約束しました。

平成22年度 標準農作業料金

(1袋は30kg・消費税込み)

作業区分	単位	条件	金額	作業区分	単位	条件	金額
農作業賃金(賄いなし)	1日	男女共実働8時間	8,000円	コンバイン	10a	一連作業	23,500円
	1時間	男女共	1,000円	乾燥調整	1袋	うるち生粉	1,260円
耕起	10a	通常	7,200円	調整のみ	1袋	うるち粉	700円
代かき	10a	植代かき	11,000円			もち粉	1,000円
田植機	10a	手直しなし	7,200円	粉殻処理	1袋		10円
防除	10a	農薬代は別	2,100円	粉運搬料	10a	バラ粉	3,500円

○実際の運用は、地域差、作業時間などを考慮し、双方でよく話し合ってください。  
○コンバイン作業において、倒伏・強湿田については、追加料金が必要となる場合があります。

参考 草刈り料金(一人当たり:シルバー人材センター)  
※原則2人以上で対応  
●1時間=約1,700円 ●交通費1日 200円  
お問い合わせ 農業委員会事務局 ☎0824-73-1133



# 子ども手当の支給が始まります。

「次世代を担う子どもたちの健やかな成長を」  
 児童手当にかわり4月1日から子ども手当が支給されます。



## ●支給資格者

子ども手当を受給できる方は、原則子どもを監護し生計を同一にする父または母です。父母に養育されていない子どもについては、子どもを監護し生計を維持する方となります。

## ●支給対象となる子ども

中学校3年生以下(満15歳以後で最初の3月31日までの間)の子ども

## ●手当の額

子ども一人につき月額1万3千円

## ●支給について

支給月は、6月、10月、2月です。支給月の前月分までの手当を支給します。ただし、本年6月は4・5月分(2ヶ月分)の支給となり、10月以降は支給月の前4ヶ月分の支給となります。  
 ※なお、児童手当を受給している方は、本年6月に平成21年度分の児童手当

(平成22年2月分と3月分)が支給されます。

## ●手続きが必要な方

- ①本年度、中学2年生または3年生のお子さんを養育している方
- ②本年度、中学1年生以下のお子さんを養育している方で、本年3月31日現在で所得超過などの理由で児童手当を受給できなかった方

## ●手続きについて

手続きが必要な①または②に該当する方が住民記録などで確認できる方には、別途お知らせしています。送付した書類をよく読んで手続きをしてください。  
 書類が届いていない方で、①または②に該当すると思われる方は、お問い合わせください。

※公務員の方は、勤務先での手続となりますので、勤務先にご確認ください。

**【注意】**  
 (一)本年9月30日までに手続を完了すると、本年の4月分から支給されますが、10月1日以降に手続すると、手続した月の翌月からの支給となりますので、ご注意ください。  
 (二)本年4月1日以降の出生、転入などによる子ども手当の支給開始月は、原則として手続の翌月となります。

## お問い合わせ

女性児童課  
 ☎0824-73-1192  
**受付窓口**  
 女性児童課  
 西城支所保健福祉室  
 東城支所保健福祉室  
 口和支所市民生活室  
 高野支所市民生活室  
 比和支所市民生活室  
 総領支所市民生活室

## 「児童手当」と「子ども手当」の違い

	児童手当(平成22年3月まで)	子ども手当(平成22年4月以降)
所得制限	あり	なし
対象年齢	小学校修了前まで (12歳到達後最初の3月31日まで)	中学校修了前まで (15歳到達後最初の3月31日まで)
手当月額	3歳未満/10,000円 3歳以上/第1子、第2子は5,000円、 第3子目以降は10,000円	一律13,000円

# 市民税非課税者の障害者福祉サービス利用が「無料」になりました

障害者自立支援法施行令が一部改正されたことなどにより、平成22年4月1日から市民税非課税世帯の障害者が障害福祉サービスなどを利用した場合の利用者負担額が無料になりました。  
 ただし、食費や基準額を超える場合は別に負担が必要です。

## 対象となる障害者福祉サービス

	事業の種類	事業の内容
自立支援給付 (全国統一事業)	障害福祉サービス	ヘルパー派遣・施設入所・施設通所など
	補装具の給付	車いす、補聴器、装具などの給付
地域生活支援事業 (市で判断する事業)	移動支援事業	外出時の付き添い
	日中一時支援事業	施設での一時的な見守り
	日常生活用具の給付	特殊寝台、ストーマ装具、点字器などの給付

## 変更点

### 1 障害福祉サービス・移動支援事業・日中一時支援事業

サービスの利用に要した費用の1割と、所得に応じた1月あたりの負担上限月額の、どちらか低い金額の負担が必要ですが、低所得者(障害者本人および配偶者の市民税が非課税の世帯)は、次のとおり無料になりました。(食費などは別途負担が必要です。)

#### 【負担上限月額 (18歳以上の場合)】

世帯類型	改正前		改正後
	利用者年収	80万円以下	
障害者及び配偶者が市民税非課税の世帯	利用者年収 80万円以下	1,500円	0円
	利用者年収 80万円超	1,500円又は3,000円	

※改正前の額は施設入所利用者を除く

### 2 補装具・日常生活用具の給付

品目ごとに標準的な価格(基準額)があり、基準額の1割(基準額以内のときは実価格の1割)と、所得に応じた負担上限額の、どちらか低い金額の負担が必要ですが、低所得者(障害者本人および配偶者の市民税が非課税の世帯)は、次のとおり無料になりました。(基準額を超えた差額は別途負担が必要です。)

#### 【負担上限額 18歳以上の場合】

世帯類型	改正前		改正後
	利用者年収	80万円以下	
障害者及び配偶者が市民税非課税の世帯	利用者年収 80万円以下	15,000円	0円
	利用者年収 80万円超	24,600円	

お問い合わせ 社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210









総務課

新庁舎の完成記念式典を開催  
市民に親しまれる庁舎へ

新庁舎建設に係る駐車場整備工事と庁舎周辺の市道整備工事が完了しました。

3月28日(日)には、地権者の方々をはじめ約200人の出席のもと、新庁舎完成記念式典を開催しました。工事期間中は、来庁者、近隣の方々をはじめ市民のみなさまには大変ご迷惑をおかけしました。



庁舎の完成を祝いテープカット

今後は、分散していた部署がひとつに集まったことで、事務の効率化をすすめるとともに、市民のみなさまが利用しやすい庁舎になるよう努めていきます。

なお、5月15日(土)から、市民ホールを憩いの場として、休日開放(8時~19時)いたしますので、待合やトイレなどにご利用ください。



オープニングを飾る永江太鼓

性  
児童課  
女児

パパと手打ちうどんに挑戦  
男女共同参画「絶品!?手打ちうどん講座」

お父さんの家庭参画を考えても、らうきっかけにと、「親子で挑戦!」パパとつくる絶品!?手打ちうどん講座」を3月14日、庄原市保健センターで開催し、71名(22家庭)が参加しました。

東城町の福岡勝三さん、房江さんご夫妻に指導してもらいながら、0才の赤ちゃんから小学生のお子さんとお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなが協力してうどんを作りました。

「こね」「踏み」「伸ばし」「切り」など、お父さんが中心となって活躍し、他の家族と一緒に頑張って挑戦していました。「踏み」の作業では、赤ちゃんをおんぶして生地を踏み込むお父さんや、楽しく飛び跳ねる子どもの姿もありました。

出来上がったうどんは、太麺、細麺、短い麺といろいろまぎっていましたが、手打ちならではのコシがあり、どんぶりに山盛りのうどんを、満足そうに食べていました。

参加したお父さん達からは、「子どもとコミュニケーションがとれて、おいしいうどんが食べられてよかった」「家でも子どもと一緒に作りたい」と好評でした。



生地をこねる親子



手づくりうどんに舌鼓

教育課  
教指導

今年の小学1年生は290人  
各小・中学校で入学式

市内の各小学校の入学式が、4月6日、各中学校の入学式が4月7日



庄原小学校入学式

に行われました。63人の新入生を迎えた庄原小学校では、新枝マツ子校長が「しっかりと見る目・大きなあいきつのできる口・話をしっかりと聞き耳・目・口・耳の3つを上手に使いやさしく元気な子どもになりましょう」と新入生に言葉を贈りました。在校生を代表し、6年生の下田知範くんが「わからないことがあったらどどん聞いてください。みんなが楽しい学校にしましょう」とお祝いの言葉を述べました。本年度、小学校に入学した新1年生は市内全体で290人、中学校は321人です。

平成22年度児童生徒数一覧表  
【平成22年4月1日】

学校名	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計
庄原小学校	小学校	63	55	72	45	66	65	366
永末小学校	小学校	8	14	9	4	11	5	51
高小学校	小学校	8	10	6	11	13	10	58
峰田小学校	小学校	5	5	9	5	3	6	33
板橋小学校	小学校	24	13	24	19	21	13	114
東小学校	小学校	21	26	32	26	34	22	161
山内小学校	小学校	16	8	9	9	5	12	59
川北小学校	小学校	2	2	3	3	5	-	17
西城小学校	小学校	22	23	13	20	16	16	110
美古登小学校	小学校	6	15	2	12	10	7	52
小奴可小学校	小学校	3	13	6	10	13	9	54
八幡小学校	小学校	6	5	6	6	4	7	34
栗田小学校	小学校	5	4	3	4	4	5	25
東城小学校	小学校	51	48	50	55	40	58	302
口南小学校	小学校	6	13	13	11	16	17	76
口北小学校	小学校	8	6	4	7	2	8	35
高野小学校	小学校	12	11	21	12	18	18	92
比和小学校	小学校	11	7	8	9	15	4	54
総領小学校	小学校	13	18	17	21	11	16	96
小計	小学校	290	296	307	291	307	298	1,789
庄原中学校	中学校	169	159	156	-	-	-	484
西城中学校	中学校	34	30	25	-	-	-	89
東城中学校	中学校	56	61	77	-	-	-	194
口和中学校	中学校	16	15	24	-	-	-	55
高野中学校	中学校	22	23	21	-	-	-	66
比和中学校	中学校	12	13	14	-	-	-	39
総領中学校	中学校	12	13	15	-	-	-	40
小計	中学校	321	314	332	-	-	-	967
総合計								2,756

農  
林  
振興課

もうける農業を考える  
農政講演会

「農政講演会しようばら」を3月26日、庄原市ふれあいセンターで開催し、市内から約50人の参加がありました。

農家所得の向上につなげることを目的に、「顧客志向の農業への転換」と題して、広島経済大学経営学科の山本公平准教授が講演。

先進事例を紹介しながら、「誰に(標的顧客)何を(提供価値)・どのよう(仕組み)に(仕組み)売ることができるのか、農産物を作るだけでなく、作ったものを自ら販売していくことが必要である。儲ける農業を実践してほしい。」と話しました。

来場者からは、「今後の農業の方向性を示していただいて参考になった。」などの感想が寄せられました。



講演する山本准教授



会場の様子





# ぐるり庄原 Look Around Shobara Camera Report カメラレポート

各地で行われたイベント&話題をお届けします。

## REPORT ④

### 里山の春を満喫 総領なの花まつり

第2回総領なの花まつりが4月18日、総領町のなかつくに公園で開催されました。

灰塚ダム建設によって整備された「なかつくに公園」には、クラスターのまち実現プロジェクトの一環として、1.3畝約15万本の菜の花が植栽されており、その開花にあわせての催しとなりました。

菜の花畑の周辺をのんびり歩く「なの花ウォーキング」などのイベントのほか、フラダンスサークルくちわエンジェルのフラダンス、県立広島大学アイリッシュミュージックサークルのコンサート、庄原市出身歌手の上杉千恵美さんによる歌謡ショーなどが行われ、地域団体の出店も並び、多くの人で賑わいました。



▲菜の花を観賞しながらウォーキング

### 高齢者の交通事故防止を願う 交通安全高齢者グラウンドゴルフ大会を開催

## REPORT ⑤



▲グラウンドゴルフも交通安全もルールが第一

市と庄原地区交通安全協会が4月5日、春の全国交通安全運動の一環として交通安全高齢者グラウンドゴルフ大会を総領町田総の里スポーツ公園グラウンドゴルフ場で開催しました。

大会には、交通安全協会の庄原、西城、総領の各分会員をはじめ、庄原グラウンドゴルフ協会の会員など約150名が参加しました。

開会式では、交通安全協会北分会長が「安全、安心な庄原市の実現のため、この大会を契機として交通安全意識の高揚と交通マナーの一層の向上に努める。」と交通安全宣言を行ないました。

参加者は「大会に参加し交通安全への意識が高まった。交通事故に遭わないために、グラウンドゴルフと同様にルールを守りたい。」と話していました。

## REPORT ⑥

### 来た!見た?乗った!?ひばごんバス 西城地域生活交通バスに新型車両を導入

西城地域では3月23日から、車体に大きくヒバゴンの親子が描かれた「ひばごんバス」が走り始めました。住民の方に愛着をもってほしい、生活交通路線をみんなで守ろうという願いをこめて、西城のシンボルキャラクター、ヒバゴンを描いています。

このバスは、高齢者や障害のある方が利用しやすいように、車椅子でも利用できるステップリフトの機能を備えています。

4月4日には、「ひばごんバス」のおひろめ試乗会が開催され、約100人がおおよそ30分の試乗を楽しみました。利用者は、「かわいいヒバゴンバスに乗れてうれしい」「このバスを見るとなんだかうれしくて、町が明るくなったよう」と話していました。

ヒバゴン出没から40年目の今年、西城では、地域の魅力をヒバゴンに乗せて発信しようと様々な活動を計画中です。



▲ヒバゴンの案内でバスに乗り込む参加者

### 新生児の健やかな成長を願う 新球場で庄原赤ちゃん写真展

## REPORT ①

3月30日～4月4日の広島東洋カープ地元開幕戦オープニングイベントとして、庄原赤ちゃん写真展がマツダスタジアムで開かれました。

昨年、広島東洋カープ・地元写真家連合会・市の3者は、新生児応援プロジェクトで、新生児にカープ特製色紙用の無料撮影チケットを配布。このチケットを



▲松田元オーナーと一人ひとり記念撮影

利用し撮影した写真を、写真家の金山一宏さんがパネル(170センチ×170センチ)にして、球場入口とバックネット裏の2カ所に展示しました。

4月4日には、「満1歳・庄原赤ちゃん大集合ツアー」が行われ、モデルとなった赤ちゃんやその家族など総勢49人が庄原市から貸切バスで球場へ出かけました。家族は自分の赤ちゃんのパネルを見つけると大喜びで、松田元オーナーと記念写真を撮り、その後試合観戦を楽しみました。息子の航太郎君と参加した杠美枝さん(東本町)は「一生の記念になり、本当に来て良かった。また企画してほしい」と喜んでいました。

写真展を企画した写真家の金山一宏さんは「庄原市で子どもを産むと楽しいと思ってもらえるように、今後もこのような活動を続けていきたい」と話していました。

カープ特製色紙の配布は昨年で終了しましたが、新生児への無料撮影チケットの配布は今年も続けています。

## REPORT ②

### 街道東城路を巡る 春爛漫 東城まちなみ春まつりが開催

東城のまちなみ約600mに、各家に伝わるひな飾りなどが並ぶ、東城まちなみ春まつりが4月10日から4月18日にかけて開催されました。

10日にオープンした東城まちなみ交流施設「えびす」のイベントステージで、比婆荒神神楽がオープニングを飾り、春まつりがスタートしました。

今年で5回目を数える春まつりは、縁結びの松や桜を愛でながら散策が楽しめるまちなみを会場に、ひな人形や生け花などの作品展示、絵手紙やコマ回しなどの体験メニューのほか、コンサートなどのアトラクションが行われ、地域住民との交流やおもてなしを楽しむ人でにぎわいました。



▲ひな飾りがお出迎え

### いにしへの里を広く紹介 「常定自治会が案内板を製作」

## REPORT ③



▲遺跡などの付近へもわかりやすく案内

口和町の常定自治会では、市の自治振興区活動促進補助金を活用し、地区内の遺跡や名勝を紹介する案内板を地区内3カ所に設置しました。

案内板は、縦1.8メートル・横1.5メートルの大きさで、地域のイラスト地図を中心に、6世紀後半頃の土器が発掘された古墳をはじめとした地域の見どころ15カ所を紹介。また、見どころ近くの市道には小さな案内板を設置し、すぐに場所がわかるようにしています。

地域の方々は、「常定地区は、歴史深い遺跡、洞回りが3mを越えるヤマザクラなどの自然も多い。魅力あるスポットを知ってほしい。」と話しています。



REPORT ⑩

## 小児科医へ感謝の気持ちを届ける 庄原の小児医療を考えるひだまりの会

医師の負担を減らすことで小児医療を守ろうと活動する「庄原の小児医療を考えるひだまりの会」が3月25日、日ごろ抱えている感謝の気持ちを伝えようと、庄原赤十字病院小児科の金丸博医師と香川礼子医師に「ありがとう」メッセージを贈りました。

この春、転勤で庄原市を離れる医師2人に対し、メンバーたち28人は「いつも素敵な笑顔でやさしく接していただき、親子の安心感につながった」「またいつか庄原に帰ってきてください」などとメッセージを寄せ書きし、画用紙(40センチ×50センチ)に貼り付けました。

小児科を訪れた母親5人と子ども8人は、医師2人を囲んでメッセージを贈ると、金丸医師は「ありがたいし、励みになる。庄原に来て良かった」と満面の笑みを浮かべて感謝の言葉を述べました。

メンバーは「先生が庄原市のことを大切に思ってく

ださるのがうれしかった。これからも小児医療を守るために、先生のためにできることをしていきたい」と話していました。



▲ありがとうメッセージを贈る子ども

## 釜峰山をより魅力的に 「地元自治会がミツマタを植樹」

REPORT ⑪



口和町を代表する山、釜峰山の登り口を「湯木釜峰山ミツマタ公園」として整備するため、3月28日にミツマタの記念植樹を行いました。

地元の湯木釜峰自治会(松島均会長)が広く呼びかけると、世代性別を問わず多くの方が釜峰山に集まりました。淡く美しく咲いているミツマタ100本と八重桜10本をみんなで一つひとつ植えました。作業のあと植えたミツマタを眺めながら、地元青年会からふるまわれた抹茶を味わいました。

自治会は、遊歩道をはじめ一帯を整備してきたことから、この植樹で森林浴公園としてより魅力的なスポットになるのではと期待しています。

▲美しい公園づくりを願って植樹

REPORT ⑫

## 比和小学校の屋内運動場が完成 落成を祝う会が行われました。



▲屋内運動場に全校合唱が響き渡る

比和小学校屋内運動場の落成を祝う会が3月14日、屋内運動場の落成を祝う会実行委員会が主催し行われました。

完成した屋内運動場は、比和町内の小学校の適正配置に向けて、改築が待ち望まれていました。保護者や地域の方々などがお祝いにかける中、児童たちは全校合唱で感謝の気持ちを伝えました。

鈴木典子校長は、「児童たちの学びの充実につながり、また、地域の方々が集う場になるよう大切にしていきたい。」と話していました。



▲完成した屋内運動場

## 住民手づくりの郷土誌を発刊 「東地区の歴史」が完成

REPORT ⑦



▲郷土誌の完成を喜ぶ林正勝美区長(右)と原田洋三事務局長(左)

東自治振興区がこのたび、「明治の大合併」(明治22年)で誕生した「恵蘇郡山内東村」の120周年を記念して、住民自らによる初の郷土誌『東地区の歴史』(206ページ、B5版、箱入り)を刊行しました。

平成19年度から資料収集を始め、住民から寄せられた225項目もの膨大な話題をもとに編さんし、地域住民など30人以上が執筆を分担しました。

この本は、幻の郷土玩具「田原人形」を紹介する「口絵」をはじめ、地域の主要トピックスを要約する「第1章 郷土散策ガイド」、古写真や民話・作業歌を掲載する「第2章 ふるさとの思い出」、東地区の自然と歴史を詳述する「第3章 東地区の生い立ち」、現在の状況を未来へ伝える「第4章 東地区のいま」で構成されています。

また、市内最大の「旧寺古墳群」(5世紀)、県下最大の「国兼池」(17世紀)、日本最古の「国立七塚原種牛牧場」(19世紀末)などを紹介し、編集委員は「地域資源を再発見できる『地域の教科書』」と話しています。

総事業費は390万円で、うち270万円は市補助金を活用。1600部を印刷し、自治振興区内の約1300世帯へ無料配布しました。林正勝美区長は「みんなが知恵と工夫を出し合い、地域がまさにひとつになってできた地域の宝。」と話しています。

REPORT ⑧

## 「高暮ダムの歴史を風化させない」 ～高野人権講座を開催～

「高暮ダムの歴史を語り継ぐ」をテーマに、高野人権講座が3月5日、上高公民館で開催されました。

最初に、庄原市と庄原市教育委員会が制作した人権啓発DVD「心の靴をぬいで」が上映されました。これは、高暮自治振興区が主催する「第10回高暮平和の集い」を題材に作成したもので、日朝友好追悼の取り組みについて学びました。続いて、高暮地区の草谷末廣さんが「私の知る高暮ダムの歴史」と題して、講演されました。朝鮮半島からの労働者強制連行によってダムが建設されたという史実を学んだ参加者は、「市外から嫁いできて、悲しい歴史を初めて知った。これからも平和の集いを続けてほしい。」などと話していました。

なお、この人権啓発DVDと併せ、副読本となるリーフレットが作成されています。



▲高暮ダムの歴史を語る草谷末廣さん

## ブロードバンドを活用しよう！ ～NEXT SHOBARA IIが開催～

REPORT ⑨



▲情報発信講座を聴く参加者

携帯電話や高速インターネットの利便性と可能性を身近に感じてもらうと、3月20日(土)、記念イベントである「NEXT SHOBARA II」(NEXT SHOBARAイベント開催実行委員会事務局 関西ブロードバンド(株)主催)が開催されました。

当日は、携帯電話やネットショップの活用術などの講演のほか、情報技術の体験コーナーや無料パソコン教室が行われ、会場となった庄原市ふれあいセンターには約500人の市民が訪れました。

参加者は、「高速インターネットを体験したが、とても便利。いろいろな場所で活用されているので利用したい。」と話していました。



生活相談

身体障害者補装具判定会

〔肢体〕 5月13日(木) 受付 13時～14時

広島県北部保健所保健課 ※1週間前までに社会福祉課障害者福祉係へ予約を。 ☎0824-73-1210

人権相談(特設)

6月1日は「人権擁護委員の日」です。 各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

●庄原地域

5月19日(水)・6月1日(火) 13時30分～16時30分

●東城地域

6月3日(木) 13時30分～15時30分

東城ふれあいセンター

●西城地域

5月13日(木) 13時30分～16時30分

●口和地域

6月3日(木) 13時30分～15時30分

13時30分～16時30分

●高野地域

6月2日(水) 13時30分～16時30分

●比和地域

6月2日(水) 13時30分～15時30分

比和文化会館

●総領地域

5月10日(月)・6月1日(火) 9時～11時

総領健康福祉センター

三次人権擁護委員協議会

☎0824-62-2572

定期巡回児童相談

北部こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。

●庄原地域

5月20日(木)・6月17日(木) 10時～15時

庄原市ふれあいセンター

※1週間前までに女性児童課子育て支援係へ予約を。

☎0824-73-0051

●東城地域

5月28日(金) 10時～15時

●高野支所

※1週間前までに東城支所保健福祉室へ予約を。

☎0847-72-5131

障害者相談員定期相談会

〔庄原地域〕

●身体 6月14日(月) 13時30分～16時30分

庄原市ふれあいセンター相談室

〔高野地域〕

●身体・知的 6月18日(金) 9時30分～12時

高野福祉保健センター

〔比和地域〕

●身体・知的 6月1日(火) 9時30分～12時

比和自治振興会館

※事前予約もできます。

お問い合わせ

☎0824-73-1210

●心の健康相談

ストレス、うつ病などの心の健康に不安のある方やその家族からの相談に応じます。

6月10日(木) 13時～14時30分

庄原市保健センター

●Eイズ検査・相談

検査は無料・匿名で受けられます。結果はその日にお知らせできます。相談は随時受け付けています。

5月12日(水)・6月9日(水) 13時～15時

広島県北部保健所保健課

☎0824-63-5181

体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口

学校における、体罰、セクシュアル・ハラスメントに関して、相談したい場合は、ご連絡ください。

※プライバシーの保護及び秘密の保持を徹底いたします。

※女性の担当者に相談したい場合は、その旨申し出て

ください。

※各学校においても相談を受け付けていますので、ご

連絡ください。

お問い合わせ

☎0824-73-1184

催し

2010健康福祉まつり

「笑顔あつまれ!げんきとやすらぎ」のまちしようばら」をテーマに今年も健康福祉まつりを開催します。青空の下、市民団体による元気いっぱいステージ発表や、出店バザーでにぎわいます。

屋内会場も各種展示・バザーや健康チェックコーナーなど盛りだくさん!!健康と福祉についてみんなで一緒に考えてみませんか。ぜひご家族そろってご来場ください。

5月30日(日) 9時～14時30分

※雨天決行

ところ 庄原市総合体育館、庄原市保健センターほか

お問い合わせ 保健医療課

☎0824-73-1158

比婆山山開き

古事記の里の夏を告げる比婆山山開きです。

夏山登山の安全祈願神事

今年度の成人式を、次の日程で開催します。

詳しい内容は、6月以降の広報などお知らせします。

8月15日(日)10時～

ところ 庄原市民会館

対象者 市内在住者、または市外に住む庄原市出身者

で、平成2年4月2日から平成3年4月1日まで生まれた人。

●実行委員の募集について

成人式の企画・運営を一緒に行う実行委員を募集します。

成人対象者で、成人式の企画・運営に関心があり、実行委員会に参加できる人をお待ちしています。お気軽にご参加ください。

お問い合わせ

生涯学習課社会教育係

☎0824-73-1188

市有自動車を公売します

不要となった市有自動車の公売を、5月中旬に予定しています。

内容については、詳細が決まりましたら市ホームページで公開します。

お問い合わせ 管財課管財係

☎0824-73-1124



市は、昨年3月に「しあわせづくり活動計画(地域福祉計画)」を策定しました。この計画では、「地域福祉」を「身近な場所での市民のしあわせ」と定義しています。昨年は各支所単位で「地域里山倶楽部」を結成し、みんなが共有できる「しあわせの場所」を見つげるため、自主的に参加した市民の方々がチームに分かれて、「しあわせづくり活動」に取り組まれました。



高原の家七塚 イベント参加者募集

●薬草探検と薬膳料理 (春のコース) 七塚原に自生している薬草の観察と健康薬膳料理の作り方を学びます。

6月5日(土)～6日(日) 1泊2日 高原の家七塚 講師 安田女子大学 薬学部 神田博史先生 薬膳料理アドバイザー 木元典子先生 対象者 成人男女 募集人数 50人 参加費 8千円 申込締切 6月1日(火) 申し込み問い合わせ 高原の家七塚 0824752033 FAX0824740827

めぶぎ交流会

絶滅寸前の草花・文化・自然を守ろうと、「ぼんばな文化伝承講座」を開催します。この講座は、地域と都市が協働しての保全交流会を年3回行っています。ヒゴダイ、ぼんばな文化、

米、そば、漬物など、自然豊かな地域比和町三河内と一緒に汗を流しませんか。

とき 6月12日(土) 10時～13時30分 ところ 『祥光山慶雲寺』の参道「ぼんばなの丘」 携行品 カマ、軍手、タオル、カッパなど 参加費 1人 1500円 問い合わせ 比和支所地域振興室 0824853000

クロカンパーク自然観察会

道後山高原クロカンパーク内に自生する中国山地特有の山野草などの植物を、現地ガイドのわかりやすい解説で紹介します。スズランが見ごろをむかえます。 とき 6月6日(日)10時～ ところ 道後山高原クロカンパーク 参加費 大人 500円 高校生以下 250円 (入園料含む) 問い合わせ 道後山高原クロカンパーク 0824842727

県民の森イベント参加者募集

●中国山地の自然探訪 県民の森ホテルに宿泊して、比婆山を中心に近郊の山々を訪ねてみましょう。

●新緑の比婆山と大万木山 雄大なブナの新緑と可憐な草花との出会い とき 5月14日(金)・15日(土) ●神話伝説の二つの比婆山 広島県庄原市と島根県安来市にあるそれぞれの比婆山の観察 とき 6月4日(金)・5日(土) 参加費 1泊3食 1万5000円 日帰り 2千円 定員 25人 申し込み・問い合わせ ひろしま県民の森公園センター 0824842011

その他

駐車禁止除外指定車 標章の変更

身体障害者手帳等をお持ちの方への駐車禁止除外指定車標章の交付基準が、平成22年4月1日から変わりました。 内容 新たに肝機能障害で、次の基準に該当する方が標章の

サイクリング&ウォーキング

サイクリングとウォーキング、どちらも最近人気が高まっています。公園ではこのどちらも楽しむことができます。ご利用ください。

国兼池を一周するサイクリングコースは4km、ウォーキングコースは3km800mです。北入口サイクリングセンターから出発すると500mおきに表示があるので目安になります。マイペースでお楽しみいただけます。自転車をお持ちいただけます(小中学生の方はヘルメットを着用してください)。

※開花状況・イベントの開催日程はホームページもしくは電話にてお問い合わせください。



ルピナス

主な初夏の花の見ごろ

- シャレーポピー 5月中旬～6月上旬
●ルピナス 5月中旬～6月上旬
●アジサイ 6月中旬～7月中旬
※見ごろは天候により変化します。

初夏の花物語

さわやかな季節になりました。公園では初夏の花が咲きはじめ、花の広場では9万5千本のシャレーポピーが見ごろを迎えます。鮮やかな赤色が印象的なポピーは、花びらがとても薄くて軽やか。わずかな風でもゆらゆら揺れるので、

初夏の花のご紹介
～シャレーポピー、ルピナス～
5月15日(土)～7月4日(日)

備北公園管理センター
0824-72-7000 (http://www.bihoku-park.go.jp/)

備北公園 だより



まるでポピーのじゅうたんが波打つようです。春から咲き続けているピオラ、パンジーで描いた「どうぶつ」も5月いっぱいお楽しみいただけると思います。

「大芝生広場」周りの花壇には約1万4千本の「ルピナス」が咲いています。藤の花が天に向って咲くような姿から「昇り藤」の和名を持つ、この地域では比較的珍しい花です。「ひばの里」の小川や池の周りにはアヤマやショウブが涼しげな花を咲かせます。6月中旬頃から約8千株のアジサイが見ごろを迎えます。

問い合わせ 水道課庶務係 0824731197

固定資産縦覧帳簿の縦覧について

平成22年度の固定資産縦覧帳簿の縦覧は4月1日～5月31日までです。

この縦覧制度により、納税者が、自己の所有する土地・家屋の評価額に関し、縦覧帳簿に記載されている周辺の土地・家屋の評価額と比較できます。

水道週間

6月1日から7日までの一週間、「水道に 寄せる信頼 飲む安心」をスローガンに、全国一斉に水道週間が実施されます。

この運動は、市民の皆さんに水道に対する理解と関心を高めていただき、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るとともに、水道事業のさらなる発展に資することを目的としています。

水の大切さをはじめ、私たちの日常生活に欠かせない「安全でおいしい水」をお届けする、水源から蛇口までの「水道」について考えてみましょう。

問い合わせ

税務課資産税係 0824731144 または各支所市民生活室

観光パンフレット

「備北のかがやき」春・夏編 備北エリア(三次市・庄原市)の観光パンフレット「備北のかがやき」春・夏編が3月末に完成しました。

このパンフレットは、春から夏にかけてのイベントや風物の情報が掲載され、イベント会場や観光施設などで入手できます。

備北エリアの観光やイベントへお出かけの際には、ぜひ、このパンフレットをお持ちいただき、より一層、備北エリアをお楽しみください。

備北観光ネットワーク協議会では、備北エリアの広域観光に取り組んでいます。今年には既存観光パンフレットへの広域マップの掲載、既存イベントの連携実施などを、関係団体と共同して進めていきます。

問い合わせ 備北観光ネットワーク協議会事務局 0824443855

あっぱれ庄原

全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

全国大会

- 第86回日本選手権水泳競技大会 (4月12日～18日・東京都) ●女子200m平泳ぎ 第2位 金藤 理絵(東海大学4年)

西日本大会

- 第27回若獅子旗西日本なぎなた大会 (3月28日・福岡市) ●試合競技 中学生男子個人の部 優勝 足立 龍邦(庄原中3年)

※該当する方の情報は 企画課広報統計係 0824731159 までお寄せください。



**人の動き**  
平成22年3月末日現在

- 住民基本台帳登録人口  
人口 40,888人(前年比-574人)  
男 19,397人(前年比-262人)  
女 21,491人(前年比-312人)  
世帯数 16,033世帯(前年比+12世帯)
- 外国人登録人口  
人口 324人(前年比+2人)

**市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です**

- 手続きは各金融機関の窓口でお願いします。  
※残高確認も忘れないでください。
- 税務課収納係 ☎0824-73-1145
  - 下水道課管理係 ☎0824-73-1175
  - 水道課庶務係 ☎0824-73-1197

**献血のご案内**  
保健医療課 ☎0824-73-1155

献血をつぎのとおり実施します。  
皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
5月28日(金)	広島県立農業技術大学校	10時~11時30分
	土井木工(株)庄原工場	13時30~15時

**自動車税は5月31日までに**

自動車税は5月31日までに納めましょう。  
納税は安全・便利な口座振替で！  
問い合わせ  
広島県北部県税事務所 ☎0824-63-5181

**広報日記**

4月の人事異動により、新しく広報担当となりました。初めての職場、初めての仕事で、初っ端からドタバタ劇を繰り広げ広報紙上初の休刊が頭をよぎりましたが、紙面に関わってくださった皆さまのサポートで何とか発行にこぎつけることができました。これから、読者のみなさまに親しまれる広報紙づくりに努めていきますので、今後ともよろしくお願いたします。イベント会場などでカメラを持ってごこない動きを見せる少し怪しげな人物を見かけたら、それはたぶん私です。気軽に声をかけてください。(奥)

**犬・猫の引き取り**  
環境衛生課 ☎0824-72-1398

5月・6月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。  
なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

庄原地域	毎月第1~第4火曜日 5月11日・18日・25日 6月1日・8日・15日・22日	11:00~11:10 東自治振興センター 11:25~11:35 市役所車庫 11:50~12:00 敷信自治振興センター
西城地域	毎月第1・第3木曜日 5月6日・20日、6月3日・17日	9:00~ 9:10 西城支所前
東城地域	毎月第1・第3木曜日 5月6日・20日、6月3日・17日	9:40~ 9:50 小奴可研修センター 10:20~10:30 東城文化会館
口和地域	毎月第4木曜日 5月27日、6月24日	11:40~11:50 口和支所前駐車場
高野地域	毎月第4木曜日 5月27日、6月24日	13:20~13:30 高野支所横
比和地域	毎月第4木曜日 5月27日、6月24日	13:50~14:00 比和支所
総領地域	毎月第2水曜日 5月12日、6月9日	9:40~ 9:50 総領支所 (スクールバス駐車場)

**男女共同参画コーナー**  
女性児童課 ☎0824-73-1243

**職場での旧姓使用**

法律では、婚姻の際に夫または妻の姓どちらかを選択することになっていますが、実際に改姓するのは、約97%が女性です。  
結婚後も働き続ける女性が増え、姓が変わったことを取引先等に説明しなくてはならなかったり、外部からの旧姓での問い合わせに対応できなかつたりなどのデメリットから、改姓後も旧姓を使用したいという声が上がりました。

国は、平成13年から旧姓使用ができる要綱を制定し、全省庁で旧姓使用が認められるようになりました。また、民間企業での使用も増えています。  
庄原市でも、今年4月から婚姻や養子縁組等で戸籍上の姓が変わった後も、希望者は届出により旧姓を使用できるようになりました。



配偶者・パートナーからの  
**暴力(DV)で悩んでいませんか**  
~あなたは“ひとり”じゃない~

広島県西部子ども家庭センター 女性相談課  
(配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所) ☎082-254-0391

広島県北部子ども家庭センター 相談援助課  
(配偶者暴力相談支援センター) ☎0824-63-5181 (内線2313)

庄原市役所 女性児童課 ☎0824-73-1243

**比和自然科学博物館**  
☎0824-85-3005  
開館 9時~17時(年末年始休館)

**地学分館開館に向けて**

博物館収蔵庫に数万点の貴重な化石が保管されていることをご存知ですか？その中には、クジラの化石や、貝の化石、絶滅した動植物の化石などもあります。  
収蔵庫では、この貴重な化石を管理、保護するため、専門家の先生に指導を受けながら、化石のクリーニングや資料整理などを行なっています。とても地味な作業ですが、当時の地形や気候、環境などさまざまなことを知る手がかりにもなります。  
現在、地学分館の開館に向けて施設整備も進めています。  
※地学分館開館については、あらためてお知らせする予定です。



8万6,000点の化石の標本を収蔵しています。

**ふれあい市長室の日程**  
企画課広報統計係 ☎0824-73-1159

- ◎とき 6月12日(土) 9時~12時
  - ◎ところ 高野支所
- ※公務により実施できない場合もあります。  
※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。

**休日診療のご案内**

5月・6月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域		
5月16日(日)	戸谷医院	☎0824-72-3131
23日(日)	牧原医院	☎0824-72-0057
30日(日)	河本医院	☎0824-75-0311
6月 6日(日)	庄原赤十字病院	☎0824-72-3111
●東城地域		
5月16日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
23日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
30日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
6月 6日(日)	細川医院	☎08477-2-0054

**市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX**

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

**里呼織り工房展**  
とき 6月9日(日)~11日(火)  
10時~17時

庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453  
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178  
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はおりません。

**ゆめさくら**  
☎0824-75-4411

**【5~6月のイベント情報】**

- ▶ゆめさくら講座  
○かずら教室  
~藤かずらランプシェードづくり~  
とき 5月21日(金)10時30分~12時  
参加費 2,300円(ライト込)  
定員 20人

- 癒しの空間づくりKouza  
~軽石と山野草の寄せ植えづくり~  
とき 5月24日(月)  
朝の部 10時30分~12時30分  
昼の部 13時30分~15時30分  
参加費 1,500円 定員 各15人

- ▶展示  
○お父さんの似顔絵展  
似顔絵募集! ※展示後、発送します。  
期間 6月2日(水)~14日(月)

**しょうばら九日市**

**毎月9日は、しょうばら九日市**

- ★出展者募集中! あなたのお店を開こう。
- ★毎月20日が出店申込締切です。
- ★申し込みは  
交流サロンラッキー ☎0824-72-0075まで

《とき》 6月9日(水) 10時~14時  
《ところ》 中本町商店街周辺  
(のぼりが目印)

詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>